

地域の課題解決は自分たちで 再生可能エネルギーで経済循環

愛知県豊田市はトヨタ自動車が生産を置く、人口約40万人の中核都市だ。しかし、広大な山間部は人口減少と高齢化が進み、高齢化率は4割超。農業や里山管理、教育等の分野における担い手不足等の課題を抱えている。そんな山間部の課題を自分たちで解決する地域自治を目指すプロジェクトが令和元年にスタートした。中心となるのは地域新電力会社「三河の山里コミュニティパワー」。彼らが進める持続可能な地域づくりに注目が集まっている。

がんばる日本

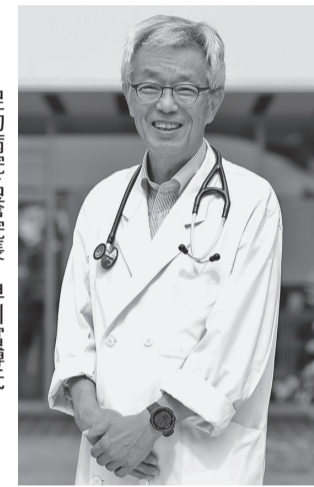
町おこし ～成功への道～

愛知県豊田市

地域医療と自治を持続可能に 住民共助で見守り・移動支援



2月に開設した「つくラッセル」の太陽光発電カーポートお披露目。超小型電気自動車「里モビ」の拠点として活用する



足助病院名誉院長・早川富博氏



MYパワー事業本部長・関原康成氏

過疎化と高齢化が進む、愛知県豊田市の山村地区。ここで、地域内循環経済と地域自治の実現を目指すプロジェクトが進行中だ。プロジェクトを担うのは地域新電力会社「三河の山里コミュニティパワー」(以下、MYパワー)だ。足助病院名誉院長の早川富博氏が中心となり、令和元年6月に設立。前年に同氏が立ち上げた「三河の山里課題解決ファーム」(以下、ファーム)と豊田市、中部電力が協定を結び、3年間の実証事業として

スタートした。MYパワーによる電力小売事業の利益で、地域に住む高齢者のための「移動支援」や「健康見守り」等のサービスを提供している。早川氏は約25年間、同地域の医療に尽力。「人口減少で地域が疲弊すれば、医療も病院も存続できない。健康寿命を延ばし地域を元気にする方法を考えてきた」と同氏は振り返る。

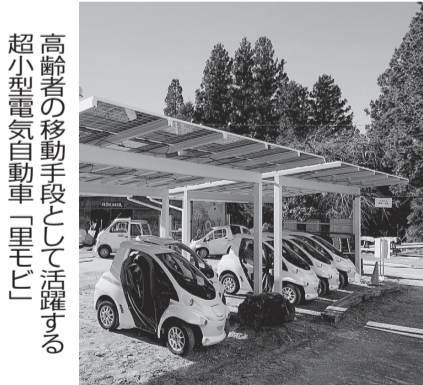
平成28年に「たすけあいプロジェクト」をスタート。若者やアクティブシニアによる移動支援「たすけあいカー」等の仕組みを作った。しかし、補助金だけの持続は難しい。ちょうどその頃、電力小売事業への参入が全面自由化となり、誰でも電力会社の立ち上げが可能になっていた。当時、地域内の電力は中部電力を利用しており、いわば地域の経済が外部に流出している状態。「電力を売った利益で地域課題の解決ができないか」。外に流出していた原資を地域内にとどめ、その利益の使い方を地域住民との話し合いで決める。さらに課題解決の発掘に住民が参加することで、自立した自治力の醸成も期待した。

電力会社立ち上げに向けて、ファームを設立。平成30年から中部電力と意見交換を始め、「たすけあいプロジェクトの継承・発展」「山村地域の課題解決のための新たなサービス」の開発。「山村地域での電力小売事業」「再生可能エネルギーの普及促進」の4本の柱を裏証する3者協定が結ばれ、MYパワーが誕生した。

現在、地域内の電力をMYパワーに切り替える説明会を集落に赴き定期的に行っている。切り替えにより、得られた収益を地域内の課題解決事業に循環できるように協定を結ぶ。協定を結ぶと電力に比べては減収となるが、経営



移動支援の「たすけあいカー」



高齢者の移動手段として活躍する超小型電気自動車「里モビ」

「新しいコミュニティの形の提供を挙げ、本事業をその実証フィールドとすることでメリットを得ているという。Iターンで地域に移住したMYパワー事業本部長・関原康成氏は「各集落を回り説明して、困りごとを発掘して解決方法を探る。地道な活動だが、各集落にリーダーとなる人物が現れる等、少しずつ効果を得ている」と手心を語る。

「高齢者が元気になるだけでは足りない。若者が住める地域にしなければ人口減少は止まらない」。プロジェクトにおいて、事業の発展も進む。2月に、廃校を利用した人材創造施設「つくラッセル」に太陽光カーポートを設置。足助病院駐車場に続き2基目だ。作られた電力は施設用で利用するほか、災害時の非常用電力にもなる。同

「新しいコミュニティの形の提供を挙げ、本事業をその実証フィールドとすることでメリットを得ているという。Iターンで地域に移住したMYパワー事業本部長・関原康成氏は「各集落を回り説明して、困りごとを発掘して解決方法を探る。地道な活動だが、各集落にリーダーとなる人物が現れる等、少しずつ効果を得ている」と手心を語る。

「田舎こそ楽しく自立できる」という考えを広げていきたい。新しい持続可能な地域づくりへのチャレンジは、楽しさを広げながらこれからも続く。



住民たちの話し合いの様子



地域の課題解決活動。耕作放棄地の復活を目指す

所は地域の高齢者が移動手段として利用する、超小型電気自動車「里モビ」の拠点にもなっていて、その充電にも使われる。再生可能エネルギーの創出として、太陽光エネルギーに加え水力発電、木質バイオマス等、地域資源を活用した普及促進もスタートする。

見守り支援事業では、中部電力との協働で、単3電池を使ったシステムも提供。地域サロンに医師等を派遣する「健康寿命を延ばし隊」も始まった。

「医療は福祉であり、福祉は生活全体。地域病院の使命は、地域全体を元気にすること」と早川氏は言い切る。「このプロジェクトは、大きな社会実験だと思っている。田舎こそ楽しく自立できるという考えを広げていきたい」。

豊田市へのアクセス
名鉄名古屋駅から名鉄名古屋本線で知立駅、名鉄三河線に乗り換え豊田市駅まで約1時間



愛知県

豊田市